

対面開催

会計専門職の魅力語る会

国際関係学部の学生にとっての会計学の魅力

日時：2023年5月31日（水）16：20～17：50

会場：一般教育棟2108室

対象・定員：大学生・一般

参加費：無料 参加方法：申し込み不要

内容：

財務会計入門A/B（全学共通科目）は、英語で会計学の基本的な知識、技能の習得を目標に行っています。英語の講義という性質上、受講生は殆ど国際関係学部で構成されています。そこで、国際関係学部の学生にとって、『会計学を学ぶ意味と意義は？』という点について、ゲストスピーカーをお招きして、考えていきます。

「国際関係学」と前置きしていますが、一般的な知識・技能としての会計学を学ぶ意味・意義や、経営情報学部以外の学生にとっての会計専門職の魅力についてもお話頂きますので、他学部、一般の方の参加も歓迎します。

講師の大野さんは、大学卒業後、飲食店の勤務等を経て、社会人になってから簿記の勉強をされ、公認会計士の資格にチャレンジし、合格しました。現在では、勤務されているセブンセンス税理士法人にて、中小企業支援だけでなく、スタートアップの相談や支援もされています。そんな大野さんから語られる「会計の魅力」を聞いていきましょう。

大野修平（おおのしゅうへい）

セブンセンス税理士法人 公認会計士・税理士。大学卒業後、有限責任監査法人トーマツへ入所。金融インダストリーグループにて、主に銀行、証券、保険会社の監査に従事。トーマツ退所後は、セブンセンス税理士法人にて開業支援、融資支援、税務顧問などの業務を行う。また、毎週、補助金と融資の勉強会を開催し、中小企業の資金繰り支援にも力を入れている。



問い合わせ先

上野雄史（静岡県立大学経営情報学部）

メール：ueno@u-shizuoka-ken.ac.jp

電話番号：054-264-5241

（なるべくメールでのお問い合わせをお願いします）